

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	一般教養教育科目群		4. 授業形態／授業種 別	講義映像(数十分程度)や資料による学 習で15回分	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	歴史と文化		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920				
	(英文名) German Prisoners of War in Japan 1914-1920				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 四国の収容所を中心に				
	(英文名) Focusing on Camps in Shikoku				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 井戸 慶治				
	(ローマ字) Ido, Keiji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学部全学科	
16. 曜日・時限			17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	捕虜、第一次世界大戦、青島(チンタオ)、ドイツ				
21. 授業概要	<p>第一次世界大戦における日本の青島攻略により、ドイツ兵などの捕虜約5000人が日本各地に抑留された。とりわけ徳島県にあった板東俘虜収容所では、捕虜たちの文化上・経済上の諸活動や地元住民との交流がさかんにおこなわれ、彼らによってベートーヴェンの第九交響曲全曲が日本ではじめて演奏された。この講義では、当時の日本各地の収容所—特に四国の収容所—における捕虜の活動や日本側の対応などについて、最近発見された資料なども用いてさまざまな事実を紹介する。また、これについて、日独交流史や捕虜待遇の歴史というより広いコンテクストの中で、多面的な考察の視点を提供したい。そのため、時として担当教員以外の先生にも講義やインタビューによるお話をさせていただいたり、関連の場所を訪れたりする。</p>				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<p>第一次世界大戦時の在日ドイツ兵捕虜の活動や日本人との交流について知り、捕虜とその収容という状況を手掛かりに、戦争や国際文化交流について考察のきっかけとする。</p>				<input type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標／学修課題	<p>1. 人口に膾炙した「伝説」によるのではなく、客観的な事実や資料に即して、ドイツ兵捕虜の諸活動や日本側の対応について正確な知識を得る。</p> <p>2. 当時の日本による捕虜待遇や捕虜に関わる日独文化交流を、より広い共時的、通時的なコンテキストの中で位置づける。</p> <p>3. レポート提出を通じて、学術的文章の書き方の基礎を身につける。</p>	<input type="checkbox"/>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>1. 導入。板東を訪れる。</p> <p>2. 日独交流史概略。幕末から第一次世界大戦まで。</p> <p>3. ドイツによる租借地青島の経営と日本軍の青島攻略。</p> <p>4. 九州の収容所(久留米、福岡、熊本、大分)</p> <p>5. 中国・近畿の収容所(姫路、青野原、似島、大阪)</p> <p>6. 関東・東海の収容所(名古屋、静岡、東京、習志野)</p> <p>7. 松山収容所。日清・日露戦争の捕虜も松山に。所長はカナブン?</p> <p>8. 丸亀収容所。音楽活動と盛況の展覧会。</p> <p>9. 徳島収容所。収容所新聞『トクシマ・アンツァイガー』</p> <p>10. 板東収容所(1)。収容所新聞『ディ・バラッケ』。活発な音楽活動。</p> <p>11. 板東収容所(2)。美術工芸展覧会。スポーツと遠足。</p> <p>12. 日本に関わった元捕虜。ポーネルとマイスナー。</p> <p>13. 帰国の経緯と船内新聞『帰国航』。交流の復活。</p> <p>14. 捕虜待遇の歴史(世界と日本)</p> <p>15. 捕虜待遇の歴史(捕虜と「武士道」)</p> <p>16. 定期試験(レポート)</p>	<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>各授業のビデオを見て、1) 内容の自分なりのまとめ、2) 感想ないし考察、3) 質問、をA4一枚程度で書いてシステムで送付すること。質問については、特にない場合は書かなくてもよい。以上毎回の授業に関する小レポートに加えて、授業で扱った事柄のひとつをテーマに選んで、2000字以上で最終レポートを提出してもらう。執筆時の留意点については、メッセージの欄を参照のこと。</p>	<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>上記の小レポートの合計が6割、最終レポートが4割の配点で評価する。合格点に達しない場合、レポートの書き直しを指示する。</p>	<input type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり		<input type="checkbox"/>

	香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名																																																																					
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ/履修希望学生に求めるもの	<p>e-learningの利点を生かし、フィールドでのビデオや写真などの画像を多く取り入れた。また、双方向性の確保のため、質問への回答やレポートへのコメントなども適宜おこなう。</p> <p>レポート執筆のさいには次の点に留意すること。1) 参考文献その他の資料からの引用や要約については出典や引用箇所を明示し、文献などの意見や情報を自分の意見やみずから調べた情報のように書かないこと。コピーやそれに類する行為が判明した場合は厳しく対処する。2) 得た知識の羅列にとどまらず自分の意見も述べる必要があるが、そのさい根拠や具体例を挙げて客観的な説得力を持たせるように努めること。情緒的でなく論理的な文章をめざすこと。3) 特に最終レポートについては、できれば二つ以上の文献や資料を参照すること。また、広いテーマを選んでしまうと、概論的なものになって執筆者の独自性が感じられないものになりがちであるから、限定されたテーマを扱う方がよい。</p>	□																																																																				
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="355 748 1398 947"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">『青島から来た兵士たち—第一次大戦とドイツ兵俘虜の実像』</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>4-8102-0450-2</td> <td>著者名</td> <td>瀬戸武彦</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>同学社</td> <td>出版年</td> <td>2006年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	教科書1	書名	『青島から来た兵士たち—第一次大戦とドイツ兵俘虜の実像』			ISBN	4-8102-0450-2	著者名	瀬戸武彦	出版社	同学社	出版年	2006年	金額		備考		□																																																			
教科書1	書名		『青島から来た兵士たち—第一次大戦とドイツ兵俘虜の実像』																																																																			
	ISBN		4-8102-0450-2	著者名	瀬戸武彦																																																																	
	出版社		同学社	出版年	2006年																																																																	
	金額		備考																																																																			
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="355 981 1398 1912"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">『どこにしようと、そこがドイツだ』</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>田村一郎 (編著)</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>鳴門市ドイツ館</td> <td>出版年</td> <td>2006年(第3版)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">『ディ・バラッケ』(1-4巻)</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>鳴門市ドイツ館史料研究会 会誌・編集</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>鳴門市ドイツ館</td> <td>出版年</td> <td>1998年—2007年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">CD「トクシマ・アンツァイガー —徳島俘虜収容所新聞—」</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>ドイツ館史料研究会 会誌・編集</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>鳴門市ドイツ館</td> <td>出版年</td> <td>2012年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書4</td> <td>書名</td> <td colspan="3">板東俘虜収容所</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>富田弘</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>法政大学出版局</td> <td>出版年</td> <td>1991年、(新装版)2006年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	参考書1	書名	『どこにしようと、そこがドイツだ』			ISBN		著者名	田村一郎 (編著)	出版社	鳴門市ドイツ館	出版年	2006年(第3版)	金額		備考		参考書2	書名	『ディ・バラッケ』(1-4巻)			ISBN		著者名	鳴門市ドイツ館史料研究会 会誌・編集	出版社	鳴門市ドイツ館	出版年	1998年—2007年	金額		備考		参考書3	書名	CD「トクシマ・アンツァイガー —徳島俘虜収容所新聞—」			ISBN		著者名	ドイツ館史料研究会 会誌・編集	出版社	鳴門市ドイツ館	出版年	2012年	金額		備考		参考書4	書名	板東俘虜収容所			ISBN		著者名	富田弘	出版社	法政大学出版局	出版年	1991年、(新装版)2006年	金額		備考		□
参考書1	書名		『どこにしようと、そこがドイツだ』																																																																			
	ISBN			著者名	田村一郎 (編著)																																																																	
	出版社		鳴門市ドイツ館	出版年	2006年(第3版)																																																																	
	金額		備考																																																																			
参考書2	書名	『ディ・バラッケ』(1-4巻)																																																																				
	ISBN		著者名	鳴門市ドイツ館史料研究会 会誌・編集																																																																		
	出版社	鳴門市ドイツ館	出版年	1998年—2007年																																																																		
	金額		備考																																																																			
参考書3	書名	CD「トクシマ・アンツァイガー —徳島俘虜収容所新聞—」																																																																				
	ISBN		著者名	ドイツ館史料研究会 会誌・編集																																																																		
	出版社	鳴門市ドイツ館	出版年	2012年																																																																		
	金額		備考																																																																			
参考書4	書名	板東俘虜収容所																																																																				
	ISBN		著者名	富田弘																																																																		
	出版社	法政大学出版局	出版年	1991年、(新装版)2006年																																																																		
	金額		備考																																																																			
34. Webテキスト(URL・説明)	「チンタオ・ドイツ兵俘虜研究会」ホームページ： http://homepage3.nifty.com/akagaki/	□																																																																				

35. パソコン必要度	自宅／大学を問わず、LMSを利用でき、教材コンテンツを視聴できる環境を準備できること	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	対面を希望する場合は、火曜日16～17時、徳島大学総合科学部3号館1階学習支援室。その他の場合は、電子メール (ido.keiji@tokushima-u.ac.jp) を活用されたい。		<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	徳島大学総合科学部1号館北棟1階 e-mail: ido.keiji@tokushima-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	徳島大学総合科学部1号館北棟1階 e-mail: ido.keiji@tokushima-u.ac.jp メールでの連絡は、moodle内部からも教員名をクリックしてできる。また、面談を希望する場合は、事前にメールにてアポイントメントを取ることを。		<input type="checkbox"/>
40. その他／備考				<input type="checkbox"/>

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	グローバル化教育科目群		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング教材による非同期型授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	グローバル化教育科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) モラエスの徳島 (英文名) Moraes's Tokushima				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) グローバリズムと異邦人 (英文名) Globalism and People from Abroad				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 宮崎隆義 (ローマ字) Miyazaki Takayoshi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学部全学科	
16. 曜日・時限			17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	モラエス, 徳島, グローバリズム, 異文化理解, 異邦人 / Moraes, Tokushima, Globalism, Cross-cultural Understanding, Alien				
21. 授業概要	ヴェンセスラウ・デ・モラエスの生涯とその作品を眺め、ゆかりの場所を紹介しながら、理解を 深め、同時に異文化理解というものを考える。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	グローバルという言葉が声高に叫ばれているが、その根底には越境ということがある。政治、経 済、科学技術、医療、環境、文化、芸術など、ありとあらゆるものが国境を超え全地球に及んで、 複雑な問題を生み出している。複雑に絡み合った問題を解く手がかりは、ひとつの価値観に囚わ れることなく複数の視点で眺めてみることであろう。人や物、芸術、文化の往来と影響関係には 長い歴史があるが、それも越境故に豊かなものになっている。その往来のひとつの例として、徳 島のモラエスを取り上げてみたい。モラエスは、何回か日本にやってきた後に、1899年から 日本で暮らし、その後1913年から16年の間庶民の中で暮らした。元ポルトガル海軍の軍人				<input checked="" type="checkbox"/>

	で後に在神戸ポルトガル領事となった人物だが、軍人、文人、外交官として、その当時の日本を、徳島を眺めて作品を書き残している。そこには現代のわれわれに対して示唆するものが多く含まれている。この授業を通して、グローバリズムと異邦人ということを考えながら、異文化の理解ということを考えてみたい。		
23. 授業の到達目標／学修課題	徳島に16年在住して亡くなったモラエスを取り上げ、異文化理解というものがどういうものか、現代のグローバリズムの中で考えてみることを目標とする。	<input checked="" type="checkbox"/>	
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 異邦人ということ 3. モラエスの生涯 4. モラエスの時代と同時代人ーラフカディオ・ハーン（小泉八雲） 5. モラエスの時代と同時代人ージョーゼフ・コンラッド 6. モラエス顕彰の概観ー戦前と戦後 7. モラエスの著作 8. 徳島のモラエス 9. モラエスの徳島 10. 『徳島の盆踊り』とゆかりの場所1 11. 『徳島の盆踊り』とゆかりの場所2 12. 『おヨネとコハル』1 13. 『おヨネとコハル』2 14. 『日本精神』と異邦人のまなざし1 15. 『日本精神』と異邦人のまなざし2 16. 定期試験（レポート） 	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報		<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	毎回の簡単な感想と定期試験（レポート）の評価を総合判断して成績の評価をする。本授業はe-learning形態なので、毎回簡単な感想を提出してもらい、また、LMS上のアクセス履歴は、出欠状況に替わるものとして成績評価の資料として扱う。さらに、毎週定期的に教材にアクセスしないで、定期試験の直前にまとめて視聴するといったことが認められた場合、成績評価に反映する。	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	あり	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	あり	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり	<input checked="" type="checkbox"/>	

	香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	モラエスが生きた時代と現代を比べながら、機会があればモラエスゆかりの場所を訪れて下さい。同時に、自分たちのふるさとに、自分たちの周りにモラエスのような人がいないか考えてみて下さい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1				<input checked="" type="checkbox"/>
	書名	徳島の盆踊り			
	ISBN		著者名	モラエス著, 岡村多希子 訳	
	出版社	ことのは文庫	出版年	2010年	
	金額		備考	※著者(著作権者)から許諾を得てダウンロード可能。学生が購入する必要はありません	
	教科書2				
	書名	日本精神			
	ISBN	4-88202-379-2	著者名	モラエス著, 岡村多希子 訳	
	出版社	彩流社	出版年	1996年	
	金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1				<input checked="" type="checkbox"/>
	書名	おヨネとコハル			
	ISBN	4-88202-915-4	著者名	モラエス著, 岡村多希子 訳	
	出版社	彩流社	出版年	2004年	
	金額		備考		
	参考書2				
	書名	モラエスの旅ーポルトガル文人外交官の生涯			
	ISBN	4-88202-558-2	著者名	岡村多希子	
	出版社	彩流社	出版年	2000年	
	金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>	

37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール (miyazaki.takayoshi@tokushima-u.ac.jp) で問い合わせてください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	miyazaki.takayoshi@tokushima-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	miyazaki.takayoshi@tokushima-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. その他／備考			<input type="checkbox"/>

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2017	2. 開講学期	後期
3. 開講学部・学科等 ／区分等	一般教養教育科目群	4. 授業形態／授業種 別	eラーニング教材による非同期型授業 講義90分×15回+レポート+自学自習
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	生活と社会	6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	bcdG
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 現代科学と研究倫理 (英文名) Modern science and research integrity		
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)		
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 金西計英 (ローマ字) Kanenishi, Kazuhide		
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード		11. 昼夜	
12. 単位数	2	13. 選必区分／単位区 分	
14. 対象学生	全学部全学科	15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	
16. 曜日・時限		17. 講義室	
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け
	連携大学 学生向け		連携大学 学生向け
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	研究倫理、研究不正、捏造・剽窃・偽造、改ざん、盗用		
21. 授業概要	本授業では、現代社会における科学技術に目を向けることから始める。現在の生活は、科学技術の成果によって成り立つことから、研究とは何かについて考える。現代の研究は、多岐にわたることから、多様な研究分野に触れ、いろいろな研究フィールドに内在する倫理上の問題を、具体的な事例に基づき考える。また、企業との関わりについても触れる。		<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	科学技術の発展は、我々の生活に恩恵をもたらした。一方、研究が細分化、専門化されることで、研究を身近に感じる事が難しくなってきた。その結果、研究に起因する問題が発生し、大きな社会問題となる危険性を孕んでいる。我々自身がそうした問題に巻き込まれるかも知れない。我々は、研究とは何か、研究とは誰のためにおこなうのかといった問題から始め、研究者の倫理とは何か、社会にとって研究		<input type="checkbox"/>

	<p>はどうあるべきか、といった問題を自らの問題として考える必要がある。この授業は、学部の学生を対象に、大学でおこなわれている研究についての理解を深め、研究の倫理について目を向け、自覚を持つことを求める。</p>	
23. 授業の到達目標／学修課題		<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>①金西 計英・大学院総合科学研究部「研究倫理の進め方」（ガイダンス）</p> <p>②石田 三千夫・大学院総合科学研究部「現代社会における科学技術」</p> <p>③齊藤 隆仁・大学院総合科学研究部「研究と不正行為」</p> <p>④佐藤 高則・大学院理工学研究部「生命科学系の研究と倫理」</p> <p>⑤楊河 宏章・大学院医歯薬学研究部「臨床（医療系）研究と倫理」</p> <p>⑥山本 真由美・大学院総合科学研究部「心理学系の研究と倫理」</p> <p>⑦内藤 直樹・大学院総合科学研究部「社会科学系の研究と倫理」</p> <p>⑧山中 英生・大学院理工学研究部「工学系の研究と倫理Ⅰ」</p> <p>⑨山中 英生・大学院理工学研究部「工学系の研究と倫理Ⅱ」</p> <p>⑩松本 高広・大学院医歯薬学研究部「動物を扱う研究と倫理」</p> <p>⑪勢井 宏義・大学院医歯薬学研究部「研究ノートとデータ管理の実践」</p> <p>⑫金西 計英・大学院総合科学研究部「出版の倫理と論文」</p> <p>⑬織田 聡・大学院理工学研究部「知的財産権」</p> <p>⑭織田 聡・大学院理工学研究部「企業と研究倫理」</p> <p>⑮石田 三千夫・大学院総合科学研究部「科学技術と倫理」</p> <p>⑯定期試験（レポート）</p>	<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報		<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>期末に最終課題としてレポートを課します。また、各授業回において小テスト等の課題が課せられます（小課題）。単にビデオを視聴するだけではなく、各回の小課題を必ずこなしてください。小課題には締め切りが設定されています。締め切りを守ってください。小課題が6回以上未提出の場合は、成績判定の対象として扱いません。成績は、最終課題と各回の課題とを総合的に評価します。</p>	<input type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり	<input type="checkbox"/>

	香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名					
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの				<input type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	「科学の健全な発展のためにー誠実な科学者の心得」		<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		『日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会(編)』
		出版社	丸善出版	出版年		2015
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)				<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール (marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@) で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	徳島大学大学開放実践センター 2階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	

	連携大学 学生向け	e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考		<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2017	2. 開講学期	後期
3. 開講学部・学科等 ／区分等	一般教養教育科目群	4. 授業形態／授業種 別	eラーニング教材による非同期型授業 講義90分×15回+レポート+自学自習
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	人間と生命	6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング	bcxG
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 知の探訪		
	(英文名) Guidance of Human Intelligence		
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)		
	(英文名)		
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 金西計英		
	(ローマ字) Kanenishi, Kazuhide		
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード		11. 昼夜	
12. 単位数	2	13. 選必修区分／単位区 分	
14. 対象学生	全学部全学科	15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	初年次対象
16. 曜日・時限		17. 講義室	
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け
	連携大学 学生向け		連携大学 学生向け
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	徳島大学、研究、科学技術 / Tokushima University, Research, Technology		
21. 授業概要	大学における学習について、主体的に学習を進める態度を身につける。大学における「研究する」ということに関し、自らの言葉で説明できるようになることを目指す。		<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	大学に入ると、それまでの高校とは、全く異なった学びの方法を身につけなければなりません。とくに、大学では「研究する」ということが、大学では、学びの中心に据えられます。いきなり「研究する」ことを要求されても、戸惑うことも多いと思います。そこで、大学における学びを学ぶため、皆さんと一緒に大学において「研究する」って何なのかを考えていきたいと思っています。皆さんが、大学での学びをスムーズに始めるための、導入役目を果たしたいと考えています。		<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	徳島大学の特徴について理解し説明できる 研究分野の多様性について理解し説明できる		<input type="checkbox"/>

	<p>研究と呼ばれる活動がどのようなものであるか説明できる</p> <p>大学における自らの学習目標と研究の関連性について理解し説明できる</p>	
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>① 金西計英・大学院総合科学研究部「ガイダンス」 ／野地 澄晴・徳島大学学長 「徳島大学の未来像 10億人が抱える問題を解決する大学」</p> <p>②高石 喜久・徳島大学副学長 「ある学生の歩んだ道～大学院へ進学し研究者になろう」 ／永田俊彦・徳島大学副学長 「糖尿病と歯周病の深い関連」</p> <p>③金山博臣・大学院医歯薬学研究部 「手術治療の新たな展開：ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘出除術」 梶龍兒・ 大学院医歯薬学研究部「ウィリアムオスラー医の心」</p> <p>④玉置俊晃・大学院医歯薬学研究部「薬と健康食品」 井本逸勢・ 大学院医歯薬学研究部「ヒトの遺伝学入門」</p> <p>⑤二川健・大学院医歯薬学研究部 未定</p> <p>⑥吉永哲哉・ 大学院医歯薬学研究部「先端数理に基づく画像診断・治療装置」</p> <p>⑦吉本勝彦・ 大学院医歯薬学研究部「内分泌腺の腫瘍化機構」</p> <p>⑧大高章・ 大学院医歯薬学研究部「創薬のすすめ」</p> <p>⑨豊田哲也・大学院総合科学研究部・「人文社会科学における仮説と検証とはなにか？」</p> <p>⑩親泊政一・先端酵素学研究所 「小胞体ストレス応答と糖尿病」</p> <p>⑪荒木秀夫・大学院総合科学研究部「“知性”を育む“運動”の学習とトレーニング」</p> <p>⑫辻明彦・大学院生物資源産業学研究所 「知ってるようで知らない酵素の不思議」</p> <p>⑬安井武史・大学院理工学研究部 「生体コラーゲン顕微鏡」</p> <p>⑭原口雅宣・大学院理工学研究部「我々の生活を変えた青いLEDについて」</p> <p>⑮依岡隆児・大学院総合科学研究部「比較文化入門～複眼のススメ」</p> <p>⑯定期期末試験(レポート)</p>	<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	講義後に関連する事項について復習する	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>期末に定期試験(レポート)を実施し、成績評価をおこないます。ただし、本授業はe-ラーニング形態ですので、各回、課題が出ます。各回の課題の提出状況は、成績評価に反映します、また、LMS上のアクセス履歴は、出欠状況に替わるものとして成績評価の資料として用います(各回の課題が6回以上未提出の場合は成績反転の対象として扱いません)。さらに、毎週定期的に教材にアクセスせず、定期試験の直前にまとめて視聴するといった振る舞いが認められた場合、成績評価に反映します。</p>	<input type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	<input type="checkbox"/>

	連携大学学生向け																		
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名		<input type="checkbox"/>																
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	この授業はe-ラーニングの形態でおこないます。基本的に、授業の進行は、皆さんの自主性に任せられます。皆さんは、計画的に学習を進めるよう注意してください（e-ラーニング形態は自由度が高い反面、多くの学生が、途中でリタイアしてしまうことが分かっています）。高度な自律性が求められることを理解した上、本科目を履修するようにしてください。		<input type="checkbox"/>																
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	<table border="1"> <tr><td>書名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>ISBN</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr><td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr><td>金額</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
書名																			
ISBN		著者名																	
出版社		出版年																	
金額		備考																	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	<table border="1"> <tr><td>書名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>ISBN</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr><td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr><td>金額</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
書名																			
ISBN		著者名																	
出版社		出版年																	
金額		備考																	
	参考書2	<table border="1"> <tr><td>書名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>ISBN</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr><td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr><td>金額</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		
書名																			
ISBN		著者名																	
出版社		出版年																	
金額		備考																	
	参考書3	<table border="1"> <tr><td>書名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>ISBN</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr><td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr><td>金額</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		
書名																			
ISBN		著者名																	
出版社		出版年																	
金額		備考																	
34. Webテキスト(URL・説明)			<input type="checkbox"/>																
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 教職・その他() ／資格取得該当科目	<input type="checkbox"/>																
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>																
38. オフィスアワー	自大学学生向け	物理的に徳島大学への訪問は困難だと推測されますので、問い合わせはメールにて	<input type="checkbox"/>																
	連携大学学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)	<input type="checkbox"/>																
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学学生向け	徳島大学大学開放実践センター 2階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@	<input type="checkbox"/>																

	連携大学 学生向け	e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考		<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	平成29年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	汎用的技術教育科目群		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	スタディスキル		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 大学の知の活用				
	(英文名) Practical use of university's intellectual property				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 織田 聡 他				
	(ローマ字) Dr. Satoshi Orita and others				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2 単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	初年次対象	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	四国地域の大学、産学官連携、イノベーション、研究、知的財産 university in Shikoku, industry-academia-government collaboration, innovation, research, intellectual property				
21. 授業概要	本講義では、大学の知の活用に必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の 知の活用に関する取り組みを紹介する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	大学の知の活用に必要な基礎知識及び四国地域の大学の知の活用に関する取り組みを知ることによ り、その必要性や大学と地域との関わりを理解することを目的とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 大学の知の活用に必要な基礎知識を理解する。 2. 四国地域の大学の知の活用に関する取り組みを理解する。				<input checked="" type="checkbox"/>

	3. 大学の知の活用の必要性を実感する。		
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 井内健介准教授・徳島大学「大学の知の活用の全体像」 2. 土居修身教授・愛媛大学「大学の知の活用に必要な基礎知識①」 3. 土居修身教授・愛媛大学「大学の知の活用に必要な基礎知識②」 4. 下方晃博特任助教・高知大学「大学の知の活用に必要な基礎知識③」 5. 土居修身教授・愛媛大学（宮川氏・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社）「大学の知の活用に必要な基礎知識④」 6. 前田眞教授・愛媛大学「大学の地域貢献」 7. 兼平重和特任教授・徳島大学「四国地域における大学の知の活用に関する取組①」 8. 兼平重和特任教授・徳島大学「四国地域における大学の知の活用に関する取組②」 9. 永富太一准教授・香川大学「文系領域の産学連携プロジェクト」 10. 永富太一准教授・香川大学「コンソーシアムからの産学連携プロジェクト」 11. 石塚悟史准教授・高知大学「高知大学における産学連携事例1」 12. 下方晃博特任助教・高知大学「高知大学における産学連携事例2」 13. 藤井章夫客員教授・徳島大学「(徳島の事例)怒りのブレークスルーより光のブレークスルーへ」 14. 織田聡教授・徳島大学「バイオ・医薬分野の知的財産制度と産学連携①」 15. 織田聡教授・徳島大学「バイオ・医薬分野の知的財産制度と産学連携②」 	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	講義後に関連する事項について復習する。	<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	本授業はe-ラーニング形態です。各回で出題する小課題(100%)で成績評価をおこないます。ただし、各回の小課題提出回数が全体の2/3に満たない場合は成績を判定しません。	<input type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	香川大学 <u>20</u> 名・徳島大学 <u>20</u> 名・鳴門教育大学 <u>20</u> 名・高知大学 <u>20</u> 名・愛媛大学 <u>20</u> 名	<input type="checkbox"/>	

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	この授業はe-ラーニングの形態でおこないます。基本的に、授業の進行は、皆さんの自主性に任せられます。皆さんは、計画的に学習を進めるよう注意してください(e-ラーニング形態は自由度が高い反面、多くの学生が、途中でリタイアしてしまうことが分かっています)。高度な自律性が求められることを理解した上で、本科目を履修するようにしてください。			<input type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="355 468 1399 667"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="355 698 1399 1294"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)				<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	<input type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	物理的に徳島大学への訪問は困難だと推測されますので、問い合わせはメールにて		<input type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	徳島大学 研究支援・産学官連携センター 井内准教授 inai.kensuke(a)tokushima-u.ac.jp ※(a) → @		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

	連携大学 学生向け	香川大学 社会連携・知的財産センター 永富准教授 nagatomi(a)eng.kagawa-u.ac.jp ※(a) → @ 高知大学 地域連携推進センター・知的財産部門 下方特任助教 a.shimokata(a)kochi-u.ac.jp ※(a) → @ 愛媛大学 社会連携推進機構・知的財産センター 土居教授 doi.osami.mu(a)ehime-u.ac.jp ※(a) → @ 鳴門教育大学 知的財産室 宮本准教授 Kmiyamot(a)naruto-u.ac.jp ※(a) → @	<input checked="" type="checkbox"/>
40. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	平成29年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	基礎基盤教育科目群		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	基盤教育学		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 大学教育を考える (英文名) Thinking on University Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 吉田博 (ローマ字) Hiroshi YOSHIDA				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	1～2年生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次/全学部	
16. 曜日・時限			17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	大学教育政策, 学士課程, 学士力, 学生の主体的学習, ファカルティ・ディベロップメント(FD) Higher education policy, Undergraduate Program, Graduate Attributes ,Active learning, Faculty development				
21. 授業概要	大学教育に関する14のトピックについて、関連する知識を得るとともに、各トピックに関連する問題点を考えることが本授業の目的です。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	大学で能動的に学習を行う上で、大学と社会との繋がりがや関わり、そして大学で学ぶことの意義について整理し、再考する必要があると考えます。そこで、現在の大学教育におけるさまざまな課題を、世界の動向、日本の高等教育政策の動向を踏まえつつ理解することで、自身の学習・研究とどのように向き合うべきかを考え、能動的に学習していくためのきっかけを掴みます。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 日本の大学教育の現状(背景・課題)を説明することができる 2. 大学教育に関する課題について自らの意見を持つことができる 3. 自身の大学生生活を振り返り、残りの学生生活をどのように送るのが良いかを考えるきっかけを掴む				<input checked="" type="checkbox"/>

	ことができる		
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス, 大学生へのメッセージ (吉田・久保田) 2. 大学生が4年間で身につける力とはなにか: 学士力を考える (久保田) 3. 単位制度とはなにか: 大学のカリキュラムを考える (久保田) 4. 初年次教育はなぜ必要か: その役割を考える (吉田) 5. 教養教育はなぜ必要か: その役割を考える (久保田) 6. 大学生は学んでいるか: 大学生の学習時間を考える (吉田) 7. 学生の学びを促進する授業とはなにか: アクティブ・ラーニングを考える (吉田) 8. 大学図書館が教育には果たす役割とはなにか: 図書館の学習支援を考える (吉田) 9. 大学における学生支援とはなにか: 正課外の学びを考える (吉田) 10. 成績評価とはなにか: 公正な評価に向けた課題を考える (久保田) 11. 授業評価アンケートの果たす役割とはなにか: 大学の教育改善を考える (久保田) 12. 大学教員に必要な学びとはなにか: FDを考える (吉田) 13. 大学を取り巻く動向を考える: ①国内外の高等教育政策の動向 (久保田) 14. 大学を取り巻く動向を考える: ②障害学生に対する支援 (久保田) 15. 大学を取り巻く動向を考える: ③大学教育におけるジェンダー (久保田) 16. 定期試験(レポート) <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> ※担当講師: 吉田 博 (徳島大学総合教育センター) 久保田祐歌 (三重大学地域人材教育開発機構) </div> 	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learning	<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>毎回のクイズ(15点)、毎回の小レポート・他者へのコメント・コメントに対する返信(45点)、 期末レポート(40点)</p> <p>※成績評価を行うための条件として、毎回のクイズを10点以上、毎回の小レポート・他者へのコメント・コメントに対する返信を30点以上獲得していることとする。</p> <p>※課題提出回数が全体の2/3に満たない場合は成績判定しない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名		<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、受講制限をかけるので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで、期限内に手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<p>無し</p> <table border="1" data-bbox="355 416 1398 611"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			教科書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="355 645 1398 1234"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			参考書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書2	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書3	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書2	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書3	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>無し</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し 教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																							
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																							
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp)で問い合わせてください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																							
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp)		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	電子メール(hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp)		<input checked="" type="checkbox"/>																																							

40. その他／備考

無し



シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	平成29年度		2. 開講学期	後 期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	一般教養教育科目群		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	自然と技術		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 行動統計学入門				
	(英文名) Introduction to Behavioral Statistics				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) エクセルを利用した統計的分析手法の基礎				
	(英文名) Fundamentals of statistical analysis using Excel				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 川野 卓二				
	(ローマ字) KAWANO Takuji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生			15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学年	
16. 曜日・時限			17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	データの整理、記述統計、推測統計、統計的仮説検定、確率的判断				
21. 授業概要	社会科学や行動科学を学ぶ際、目的をもって集められたデータを整理し、その中に存在する情報を記述統計、推測統計の手法を用いて分析、理解することが必要となる。この授業では、文系の学生にも重要な統計学の基本的な手法を具体的な演習課題をエクセルで解きながら学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	調査や実験を通じて収集したデータを整理し、その分析手法および結果解釈法の基本を学ぶ。また、手軽に利用できる道具としてエクセルを利用しデータ分析に必要な手順を体得する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	エクセルの基本的な機能を利用してデータ分析の基礎を習得する データの種類の合わせた整理方法、表示方法を習得する 正確に記述統計量と検定統計量を計算し、その解釈を行う データの種類と統計分析の目的に合わせて仮説検定を行い、その結果を確率的に判断する				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>01. オリエンテーション、統計学の用途とエクセルの利用</p> <p>02. データの記述: 整理法、表示法、図示法 課題(01・02) 提出締切日: 11月10日</p> <p>03. データの理解、代表値、散布度</p> <p>04. データの分布と変換 課題(03・04) 提出締切日: 11月17日</p> <p>05. データの集計: 単純集計、クロス集計</p> <p>06. データの関連、相関 課題(05・06) 提出締切日: 11月24日</p> <p>07. 記述統計から推測統計へ 確率分布の利用(1)</p> <p>08. 推定と検定 確率分布の利用(2) 課題(07・08) 提出締切日: 12月1日</p> <p>09. 統計的検定の手順</p> <p>10. t 検定の利用 課題(09・10) 提出締切日: 12月8日</p> <p>11. U検定、T検定の利用</p> <p>12. カイ2乗検定の利用 課題(11・12) 提出締切日: 12月15日</p> <p>13. 相関係数の利用</p> <p>14. ファイ係数の利用 課題(13・14) 提出締切日: 12月22日</p> <p>15. 統計手法適用の問題点と留意点</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	授業の内容を補完する練習問題(提出必要なし)、および課題(提出必要、最終成績の一部となる)を解き、学んだことを定着させてください。		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	各回(01~14)の課題の提出状況(42%)と期末試験レポート(58%)で行ないます。各回の課題は、それぞれ次の評価(75%以上の正解=3点、50~75%の正解=2点、25~50%の正解=1点、25%未満=0点)を受けることになる。提出回数が少ない場合は、課題の合計得点が少なくなるので注意してください。 10回分以上の課題が提出された後で 、期末試験レポートの提出資格が生じます。期末試験レポートは、第15回の授業を受講後に取り組み、不正行為がないことの宣誓書(別様式あり)への記名等とともに提出があった場合にのみ採点されます。(期末試験レポートの提出締切日: 1月15日)		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: ○あり・なし</p> <p>香川大学 20名・徳島大学 20名・鳴門教育大学 20名・高知大学 20名・愛媛大学 20名</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	この授業は、エクセルについて学ぶための授業ではなく、エクセルを使って学ぶ授業です。そのため、エクセル未経験者の履修はご遠慮ください。履修希望学生は、グラフ作成や数値計算などのエクセルの基本的な操作をすでに習得していることが求められます。授業内容に関係した統計や数学等に関わるエクセル関数については、授業の進展に合わせて紹介していきます。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																				
	ISBN			著者名																																																	
	出版社			出版年																																																	
	金額		備考																																																		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3">本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td>978-4-7628-2125-7</td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td>吉田 寿夫</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td>北大路書房</td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td>2006年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td>2500円＋税</td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	参考書1	書名	本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本			ISBN	978-4-7628-2125-7	著者名	吉田 寿夫	出版社	北大路書房	出版年	2006年	金額	2500円＋税	備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input checked="" type="checkbox"/>
参考書1	書名		本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本																																																		
	ISBN		978-4-7628-2125-7	著者名	吉田 寿夫																																																
	出版社		北大路書房	出版年	2006年																																																
	金額	2500円＋税	備考																																																		
参考書2	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
参考書3	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知ブラ)ホームページ http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>																																																	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																																	
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	メールで初回対応をします。オフィスアワーの時間予約を行ってください。その際、件名には「e統計学入門」と記してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) メールで対応します。その際、件名には「e統計学入門」と記してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kawano (アットマーク) tokushima-u.ac.jp (アットマーク)を@に置き換えてご利用ください		<input checked="" type="checkbox"/>																																																	
	連携大学 学生向け	kawano (アットマーク) tokushima-u.ac.jp (アットマーク)を@に置き換えてご利用ください		<input checked="" type="checkbox"/>																																																	
40. その他／備考				<input type="checkbox"/>																																																	